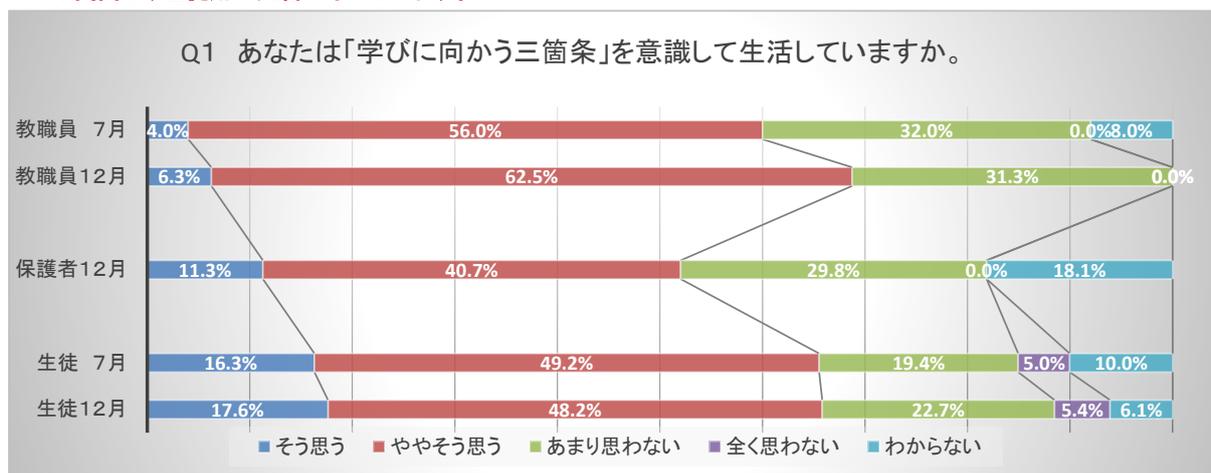
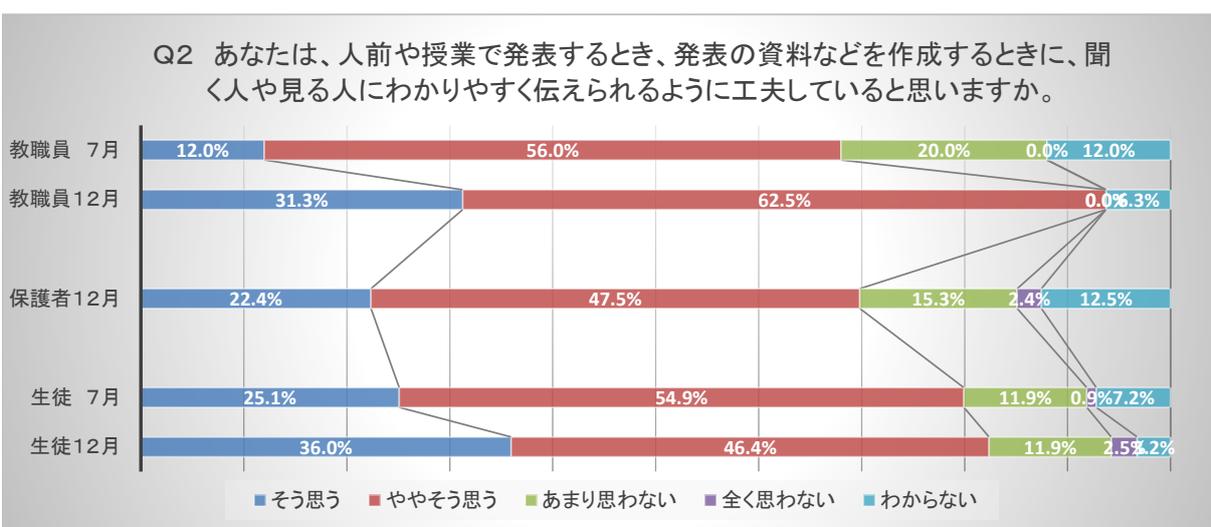


令和6年度 12月学校評価(7月との比較) 生徒・保護者・教職員

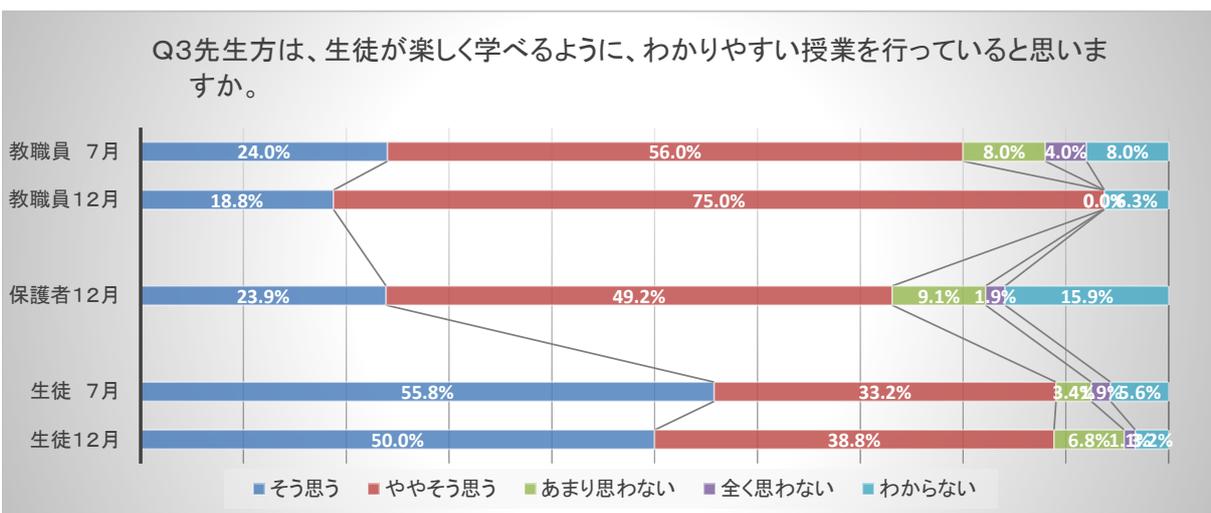
※質問は、生徒用の文言になっています。



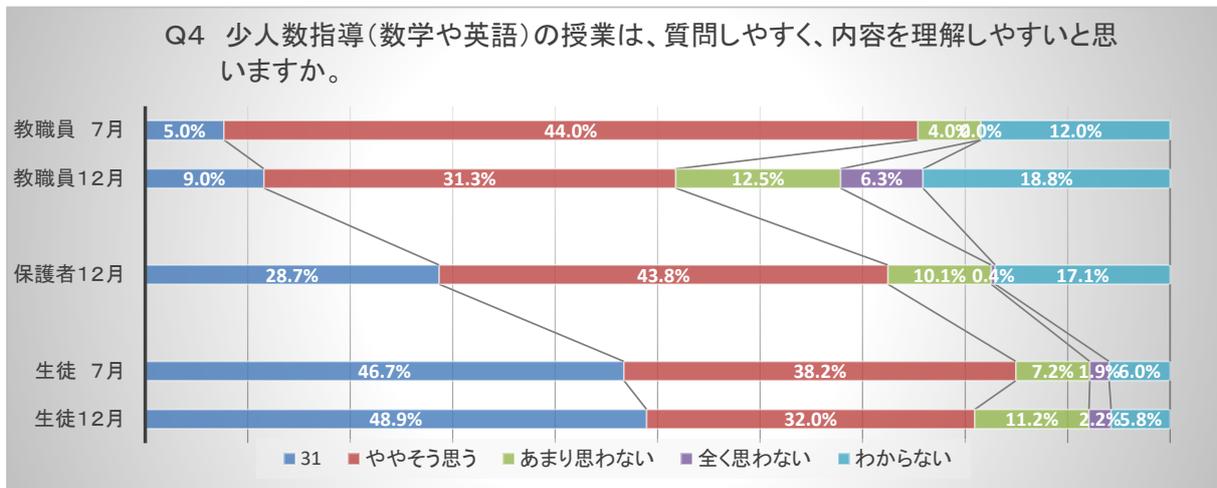
「そう思う」「ややそう思う」の割合はあまり変化していませんが「あまり思わない」の割合が増加してしまいました。学習規律に関しては、教師自らが時間を守るなどすることで、生徒の意識を高めていきます。また、「なぜ？」がうまれる授業づくりや仲間に意見を伝えたいと思えるような関係づくりを引き続き行っていきます。



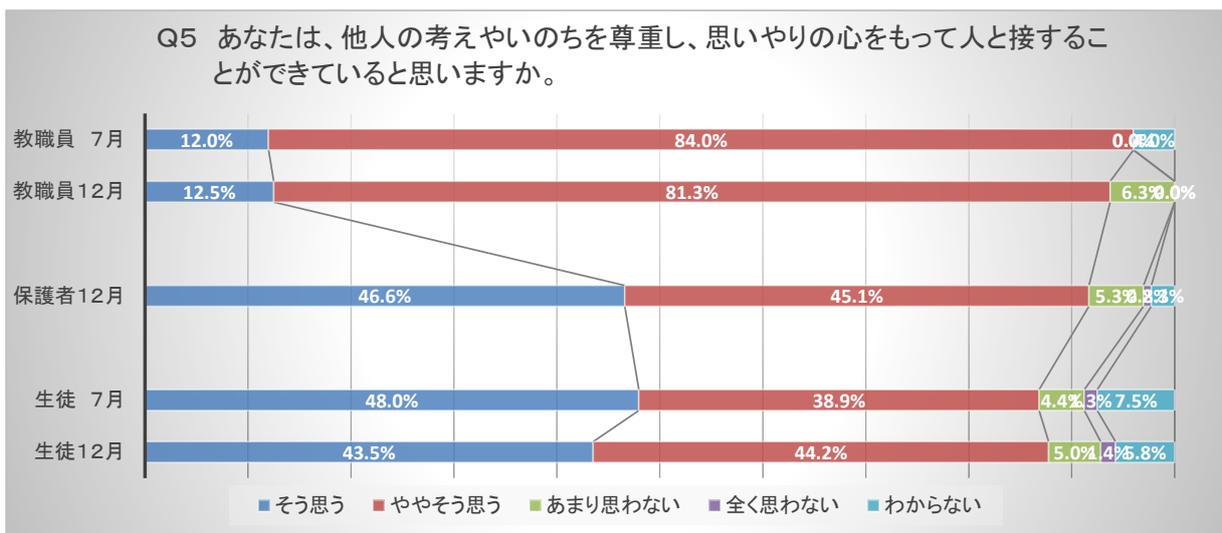
7月の調査と同様に8割以上の生徒が、他者意識をもって自分の考えを伝えようとしています。今後も自分の考えをもち、他者にわかりやすく伝えたいと思える支援や学校生活・コミュニケーションタイムを通して話しやすい関係づくりを更に進めていきます。



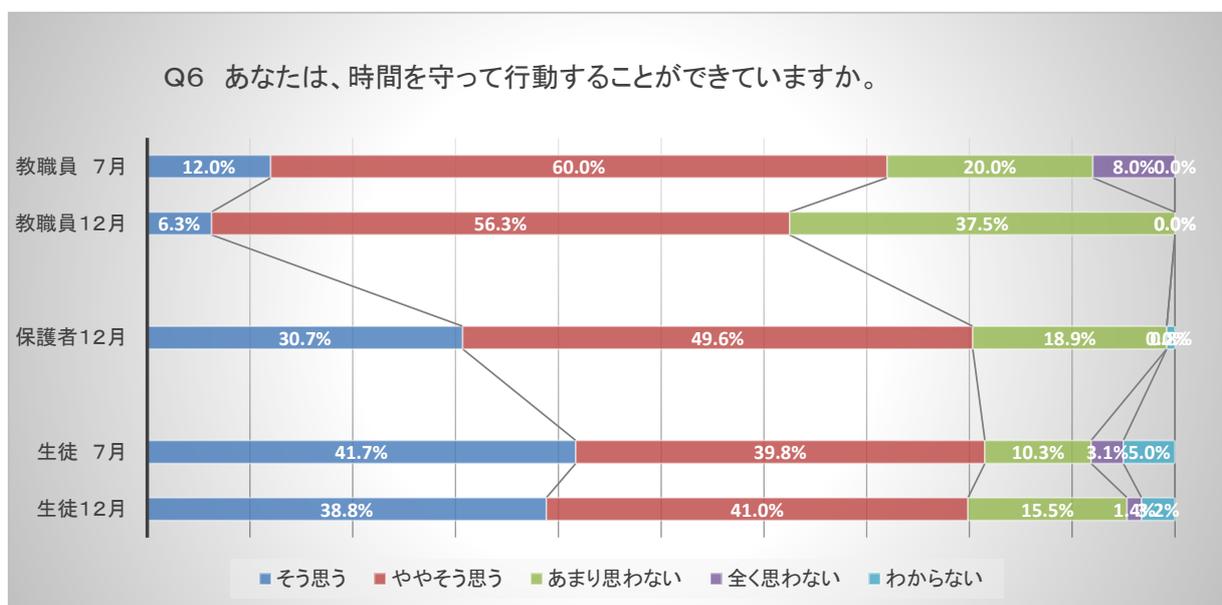
7月の調査と同様に約9割の生徒が、楽しく学べるわかりやすい授業が行われていると回答しています。しかし、「あまり思わない」と回答している生徒も1割弱います。個に応じた支援がこまやかに行えるような方法を各教科で研究していきます。



約8割の生徒が質問しやすく内容を理解しやすいと回答しています。その一方で、「あまり思わない」と感じた生徒が増加しました。学習内容が難しくなり、理解できない内容が出てきた結果ではないかと考えます。過去の学びを振り返り、基本的な内容が理解できるように努めていきます。

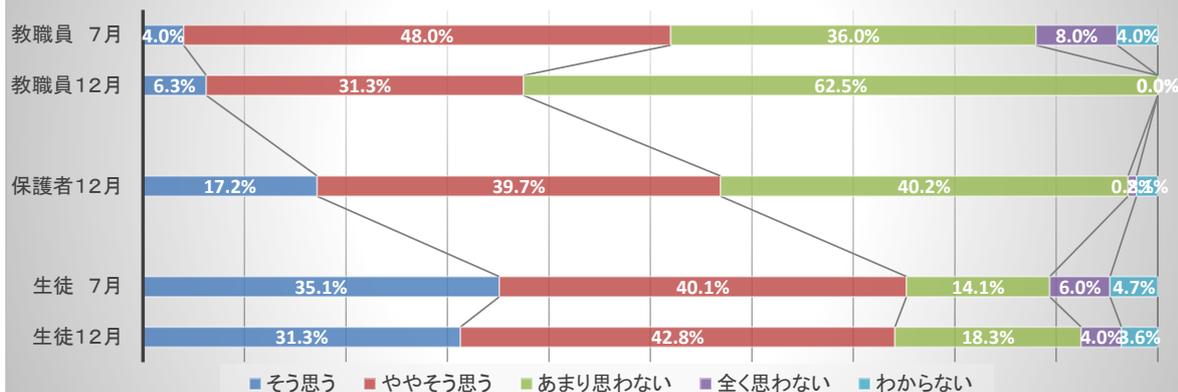


多くの生徒が思いやりの心をもって接している(接されている)と感じています。今後も、一人一人の存在を大切に、いじめなどの重大な問題につながらないように、アンテナをより高くして学校生活の様子を見ていきます。



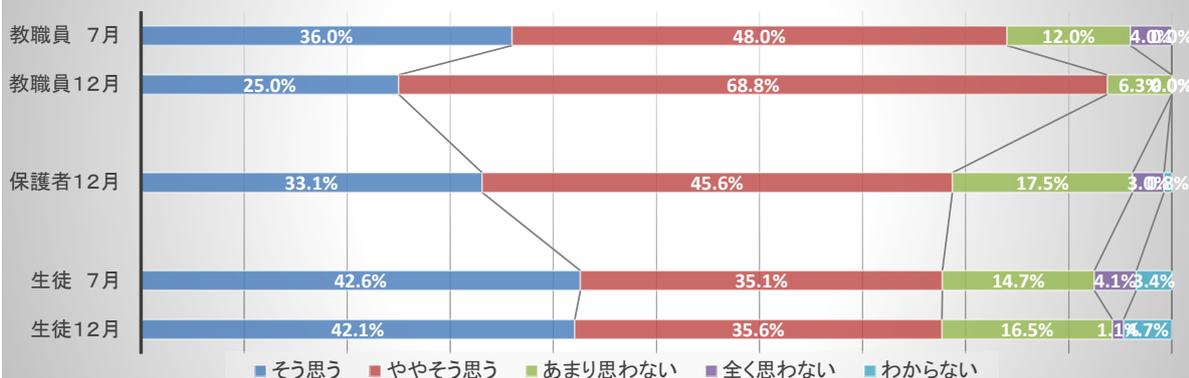
意識の高い生徒の割合が8割であることはよい傾向です。学年リーダーが時間を守るための工夫を考え、実施していることも影響しているのかもしれませんが、人に言われたから動くのではなく、自分の生活を自分でコントロールする力を身につけていくことは、今後の生活にいかされていくはずで

Q7 あなたは、身のまわりの整頓や黙道清掃ができていますか。



自立するためには、身のまわりを整理する力は必要だと考えます。苦手な生徒には、教師がやり方を示しながら一緒に掃除をしたり学校内の整頓を行ったりしていきます。そして、気持ちのよい環境づくりを実感できるように努めています。

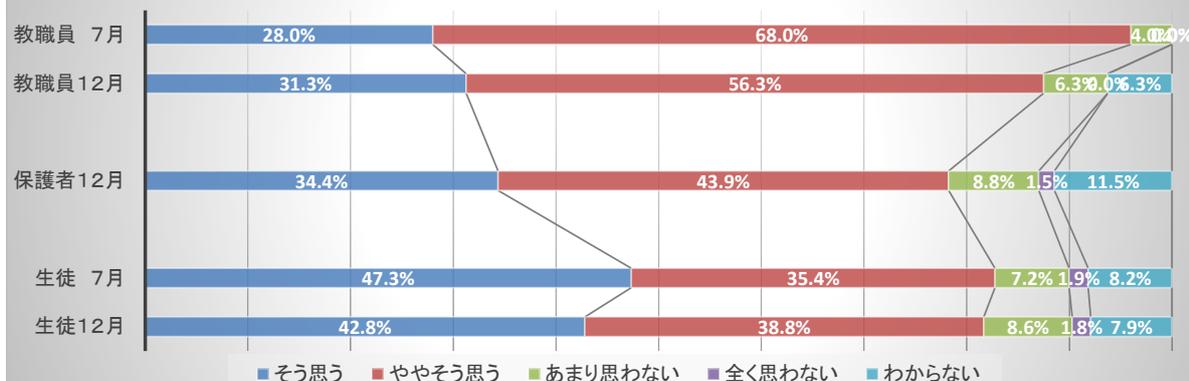
Q8 あなたは、自分からすすんで挨拶をすることができますか。



朝のスタートで生徒たちのさわやかな挨拶の音が響いています。2年生は職場体験学習を通して、社会に出た時の挨拶の大切さを実感した生徒も多くいたようです。

周囲の人たちのためにも自分のためにも、自分から挨拶ができる生徒を増やしていきます。

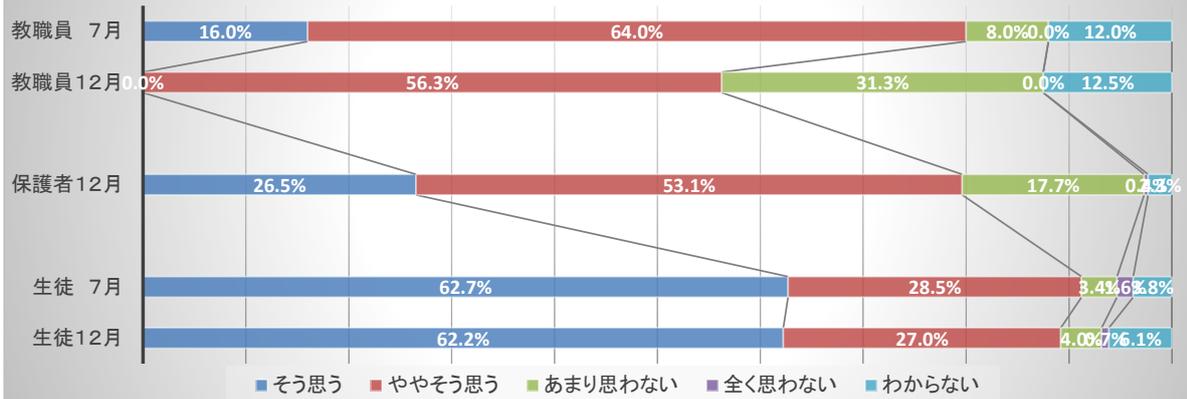
Q9 先生方は、親身になって話を聞いてくれたり、声をかけたりしてくれていますか。



生徒たちが安心して学校生活を送れるように、今後も温かくもあり厳しくもある学級経営を心がけ、なにげない会話を大事にしています。

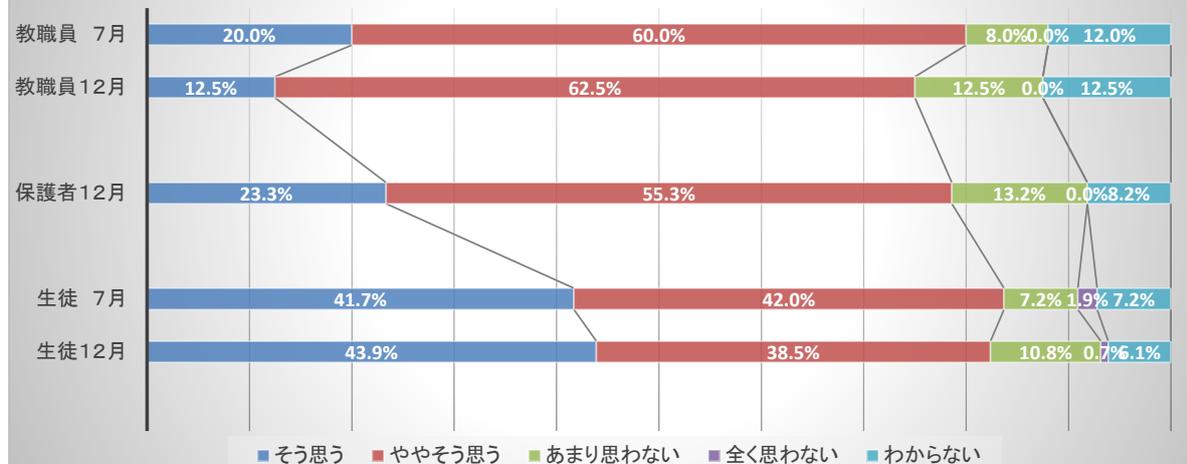
そして生徒がいつでも気軽に相談できる関係づくりを心がけていきます。

Q10 あなたは、SNSの利便性だけでなく、問題点や危険性についても理解していますか。



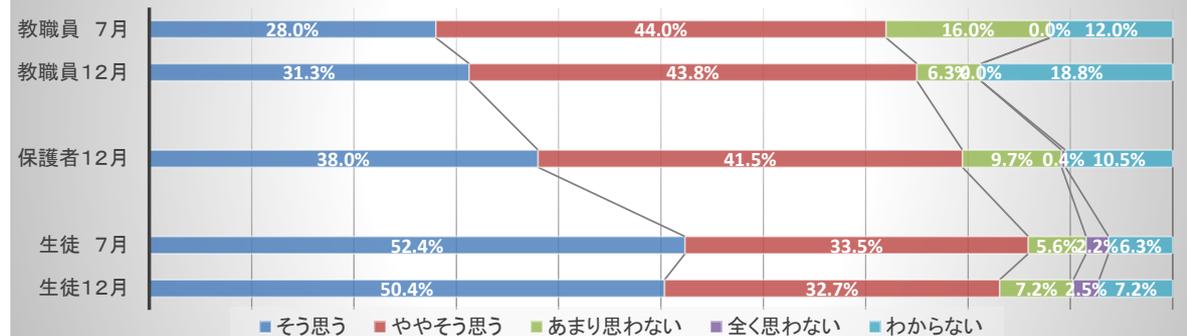
SNSの使い方を間違ってしまい、思わぬトラブルに発展するケースが身近にあることは事実です。学校では生徒たちに事例を挙げて話をしたり、危険性を学習できる機会を設けていたりしています。ご家庭でもルールづくりや使用方法の再確認をお願いします。

Q11 あなたは、自分だけでなく他人のいのちを守るための判断力や行動力を身につけるために、避難訓練や安全・安心に関わる学校での活動を生かしていると思いますか。



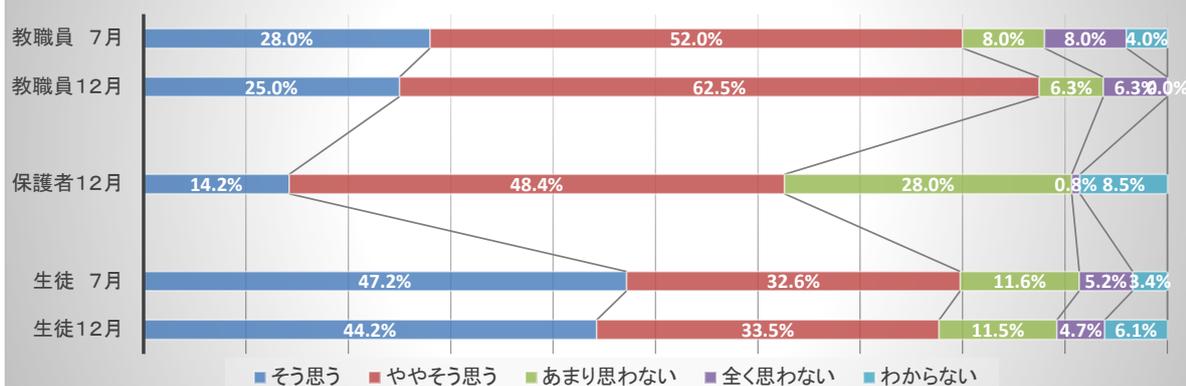
教師や保護者よりも生徒たちの意識が高いことは頼もしく感じます。本校では、避難訓練の際、実際に災害や危険があった時に、自分で考えて行動できるように、必要な知識を学習する機会を設けています。また、もしもの場合、中学生は自分の命を守ると同時に、人を助ける立場であることを伝えていきます。

Q12 先生方は、LTノートや個別面談、ふだんの会話などで、生徒のことを理解しようとしていますか。



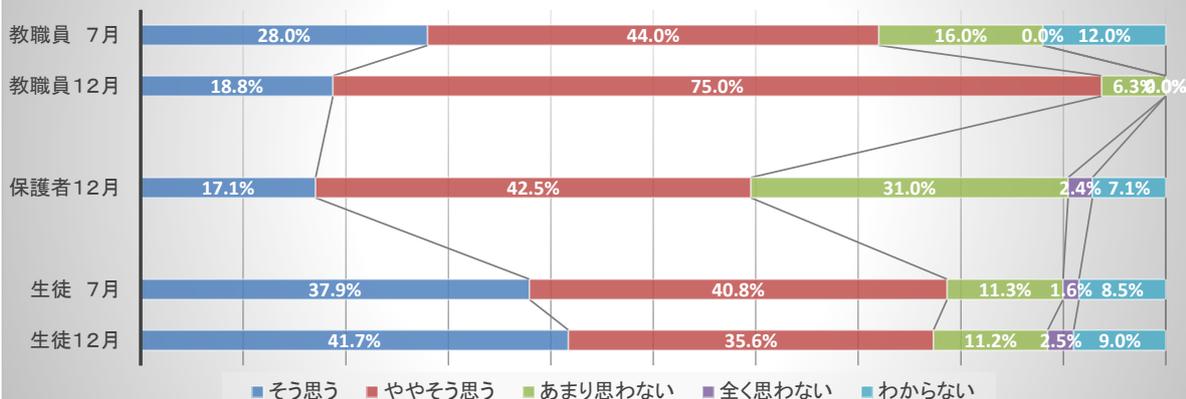
LTノートには、生徒たちがなげない日々の様子を書けるようになっていきます。教師と直接話しにくい内容も、文章に書く方が伝えやすい生徒にとっては、LTノートの存在は有効です。このノートが担任との交流の場、相談の場としての役割を担うことができるように、LTノートでのやりとりも大切にしていきます。

Q13 タブレット端末を使うことで、生活や学習が便利になったと思いますか。



8割程度の生徒が、タブレット端末の使用に関して肯定的な意見をもっています。
一方で、否定的に感じている生徒に向けては、タブレット端末を授業の中で活用するなかで、有効な使い方等を紹介していきます。

Q14 あなたは物事に興味や関心を抱き、今年の4月頃と比べて「もう少し深く知りたい」という気持ちが強くなってきていると思いますか。



「そう思う」の回答が増加する一方で、「全く思わない」の回答も増加しています。昨年度の調査でも同じ変化が7月から12月の間で見られました。興味をもたない生徒には、学びの好奇心を刺激するようなヒントを、興味をもてない生徒には、基本的な内容が理解できるような支援をしていくように努めていきます。